



国道108号古川駅東1丁目を走る緊急車両



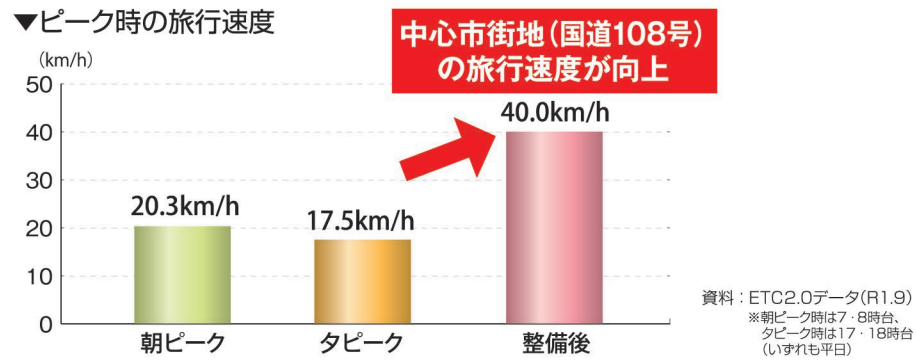
国道108号古川駅東3丁目の道路混雑状況

## 整備効果

### 効果 1

#### 中心市街地の混雑緩和

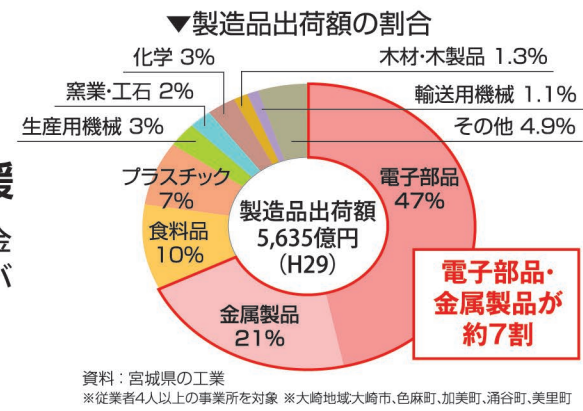
古川東バイパスへの交通転換により、市街地を通過する車両が減り、市街地の混雑緩和が期待される。



### 効果 2

#### 地域産業の更なる振興を支援

揺れに弱い電子部品、金属製品の輸送に古川東バイパスが貢献

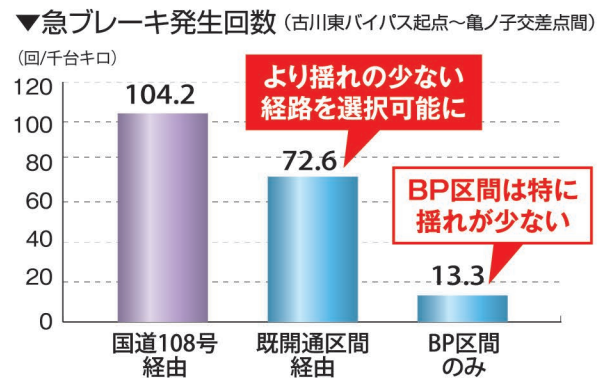


#### 【金属製品製造企業の声】

- 精密機械のため、輸送中の揺れが大敵であり、幅員が確保された、揺れの少ない道路を選択したい。
  - 混雑区間を回避し、輸送時間の安定性向上が期待される。
- (R1.8 ヒアリング結果)

### 効果 3

#### 救急医療活動を支援



#### 【大崎地域広域行政事務組合の声】

- 市街地は信号や渋滞が多く、緊急搬送時の急ブレーキや揺れが患者の負担になる。
  - 整備後はこれらの問題がないため、安定した搬送が可能となり、大崎市民病院への救急搬送で利用することを想定。
- (R2.2 ヒアリング結果)

# 国道108号 古川東バイパス

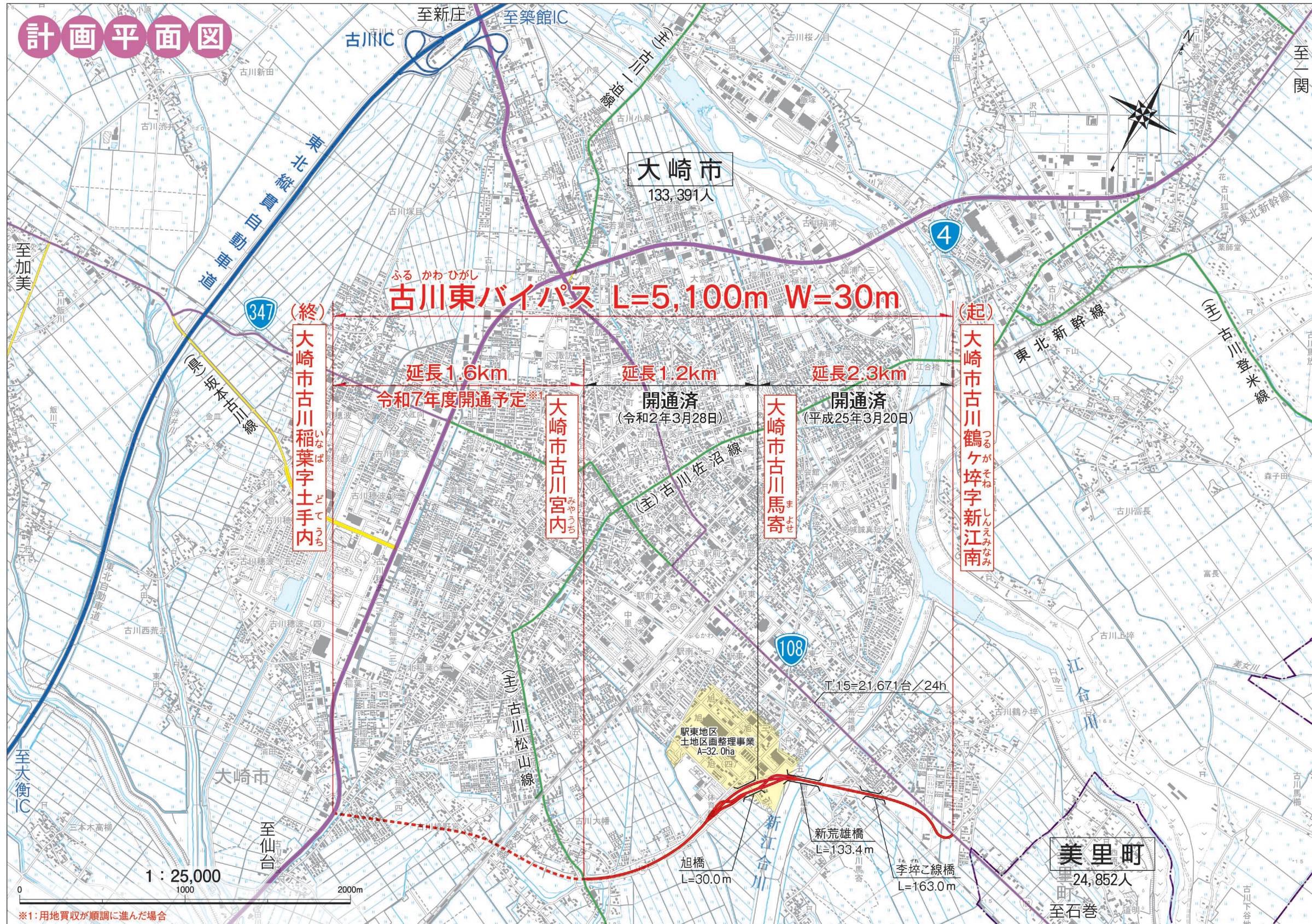


# 事業概要

大崎市内を通過する国道108号は、近年の交通量の増加、車両の大型化に伴い、交通混雑はもとより沿道環境に支障をきたしていました。これらの諸問題を解消するため、大崎市古川鶴ヶ塚を起点とし、大崎市街地を南側迂回し、大崎市古川稲葉の国道4号に至る延長5,100mのバイパスが計画されました。

令和2年3月までに、大崎市古川鶴ヶ塚～大崎市古川宮内間L=3,500mを2車線で供用し、残区間については、令和7年度に全線暫定供用予定です。

## 事業進捗状況



## 古川東バイパス位置図



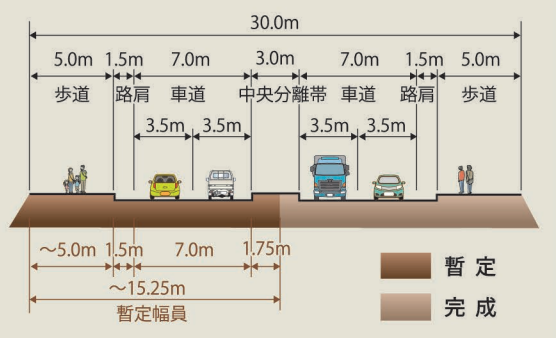
## 事業経緯

- 平成2年度 事業着手
- 平成7年度 用地着手
- 平成19年度 工事着手
- 平成24年度 古川鶴ヶ塚～古川馬寄間2車線供用
- 令和元年度 古川馬寄～古川宮内間2車線供用
- 令和7年度 全線暫定供用予定

## 計画諸元

区間	起点	大崎市古川鶴ヶ塚字新江南
	終点	大崎市古川稲葉字土手内
延長	L=5,100m	
構造規格	第3種 第1級	
設計速度	80km/h	
設計交通量	15,200台/日(T <sub>30</sub> )	

## 標準断面図



※1: 用地買収が順調に進んだ場合